

令和 8 年度 第 2 回浜田市地域公共交通活性化協議会議事録（要旨）

日時：令和 8 年 7 月 21 日（火）13：30～14：50

場所：浜田市役所 5 階全員協議会室

資料：・会議次第

- ・浜田市地域公共交通活性化協議会規約【資料 1】
- ・地域公共交通計画認定申請書【資料 2】
- ・令和 7 年度浜田市地域公共交通活性化協議会事業報告、決算書、会計監査報告書
【資料 3-1、3-2、3-3】
- ・令和 8 年度浜田市地域公共交通活性化協議会事業計画（案）、予算（案）
【資料 4-1、4-2】
- ・公共交通機関の利用状況等について【参考資料】

1 会長挨拶

2 報告事項

- (1) 規約及び事務局規定について
- (2) 第 1 回協議会（書面審議）の結果について
 - ＜質疑応答＞
 - 質疑等なし

3 議題

- (1) 令和 7 年度事業報告及び決算・監査報告について
 - ＜質疑応答＞

○委員

資料 3-1 (3) 補助制度の実施③交通事業者の乗務員確保のための補助事業に関連して、先日、石見交通の一部路線の運休についての記事が載っていました。こういった補助事業があっても、運転手不足による運休が起きていることについて、現状をお聞きしたいと思います。

○委員

現状では、限られた乗務員の中で業務にあたっており、休日出勤等で対応しておりましたが、他の乗務員にも負担がかかるということで、運休という状況になりました。運転手の募集等については、ハローワーク等を通じて随時募集を行っておりますが、運転手の高齢化が進んでおり、充足しにくい状況です。

○委員

厳しい現状かと思いますが、他市では外国人人材や女性人材の登用が進んでいると聞きます。そのあたりについてはどう考えておられますか。

○委員

女性に関しては浜田で1名おり、女性の方にもチャレンジしていただきたいと思っています。都会の方で外国人の採用が始まったと聞いています。すぐに採用に手を出せるかと言うと、難しいとは思っております。他の事例を参考にしながら、声掛けをしていかなければならないとも思っております。

○会長

市の補助内容はどうなっていますか。

○事務局

市は、国や県の補助事業を補完するような形であり、2種免許の取得費用の補助として、10万円の補助金を準備しております。また、雇用されて、遠方から来られる方の支度金として、5万円の補助を実施しております。

令和7年度実績として、2事業者3名に対して補助を実施しました。

○委員

補足資料のデータについて、時間帯別の乗車比率など、より詳しい情報があると分かりやすいと思います。

また、資料3-1(6)先進技術を活用した調査とありましたが、内容について詳しく知りたいです。

○事務局

今回作成したグラフは、人数のみを示したものになっております。全ての路線ではありませんが、乗降調査を行っており、時間帯別のデータも持っております。引き続き収集を行っていくと考えています。

○会長

そのようなデータの提供は可能ですか。

○事務局

膨大な資料になりますが、ある程度提供可能だと考えております

また、先進事例研究については、広島県北広島町、江津市、熊本県荒尾市に話を聞きました。北広島町では、AIデマンドタクシーとして、予約を受け運行するといった方法で実施しておりました。江津市についてはAIを用いて予約から配車までをシステム化し、エリア運行を行っております。江津市の課題としては、乗合率に課題があると伺っております。熊本県荒尾市についても同様にAIデマンドタクシーを取り入れているということで情報収集を行いました。

○委員

あいのりタクシーの評価や今後の見通しについて、生活路線バスや予約型乗合タクシーであれば、利用者数や乗合率が成果指標となると思いますが、全体の補助額や利用する団体も増えてきている中で、考えがあれば教えてほしいです。

○事務局

評価については、評価基準を持っておらず、1つの課題と思っております。

また、現在浜田でまちづくり推進委員会が42団体あり、予算も年々増えております。しかし、予算は特定の基金から執行しており、継続できるものではないことも課題です。今後は市の公共交通と市民ニーズを考えながら検討していかなければならないと感じております。

○委員

評価の考え方は難しいと思います。

予算について、今後も団体数は増えていくと思いますが、それに伴って予算も増えるのでしょうか。比例して増えていくとなると大変になるのではないかと心配しております。

○事務局

予算は800万円であり、不足した場合は他の予算から流用しております。団体数が増えているとありましたが、利用の幅も増えており、1団体が利用する金額も大きくなっています。また、金城地域や旭地域など、中心市街地から距離が遠いところは運賃が高くなることで大きな金額になっている傾向があります。予算が足りなくなるという不安は常に持っております。

○委員

あいのりタクシーを体験利用しましたが、タクシー料金が4,000円かかったと聞きました。どのような計算方法になるのでしょうか。

○事務局

タクシー料金は市が定めるものではありません。基本的には貸切運送で運行されているものであるため、そのような料金になったのではないかと想像します。

○会長

せっかくなので、あいのりタクシーについて、どういう仕組みか説明をお願いします。

○事務局

まちづくり推進委員会が地域のイベント会場等まで送迎する際にタクシー事業者やバス事業者と貸切運送契約を結び、利用者は一部運賃のみを支払い、残りの運賃に対して補助する仕組みです。今回は、タクシー事業者とどのような契約であったかは分かりませんが、1運行4,000円として契約をされたのではないかと思います。

○会長

利用者の負担額に上限はあります。

○事務局

特に決めておりません。基準額として、まちづくり推進委員会内の移動であれば、300円、例えば、浜田のまちづくり推進委員会が浜田エリアに移動する際は500円、それ以外のエリアへは700円といった大まかな基準は設けています。

○委員

誤解を招きやすいところですが、普通にタクシーに乗ると貸切運送契約です。先ほどの説明を受けて、貸切だから高いと思われたかもしれませんが、時間単位とメーター制があり、事前に取り決めれば、そこまで高くないと思います。

○委員

私の地域では、あいのりタクシーがあることで様々な事業ができ、浜田からも往来があります。運賃が高いかもしれませんが、あいのりタクシーがあることで助かっています。

○委員

先ほど貸切運送についてありましたが、タクシーはメーター料金制と貸切時間制料金があり、どちらを利用するのか、あらかじめタクシー事業と利用者間で調整することで、誤解が生まれることはないと思います。また、県内でもタクシー料金の運賃改定も予定されており、値上げされる可能性もあるため、あいのりタクシーの契約においては、事前に把握されておかれるようにお願いしたいと思います。

○委員

地域公共交通認定計画書の別紙に「弥栄線を維持することにより。弥栄地域の高齢者等の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保される。」とありますが、金城や旭についても同様という考えで良いのでしょうか。

○事務局

弥栄線が記載されているのは、国の補助金を受ける路線が弥栄線になっているためです。

路線が持っている意味合いとすれば、同様であると考えています。

○委員

石見交通さんが運転手確保に苦勞されていると思いますが、どのくらい不足しているか把握はされていますか。

○委員

不足人数が変動しており、正確には把握しておりません。

運転手の高齢化を考えれば、5名でも10名でも来てほしいという気持ちは持っています。

○委員

三隅町の三保地域でもあいのりタクシーを実施しており、買い物に出かけています。今回地域の方にあいのりタクシーについてアンケートを取ったところ、ほとんどの人が知らないという実態がありました。現実では知らない人がいるという実態を知っていただきたいと思います。

○事務局

周知をどこまでするのかということについては、難しい問題だと思っています。あいのりタクシーは実施主体がまちづくり推進委員会ということで、事務局がしっかり取りまとめをされておられると思います。また周知をしても、体制がしっかりしていないと実施できない面もあります。知らない方がおられたことは周知不足もあると思いますが、周知がしにくいことも現状であると考えています。

○委員

参考資料の表について、減少している地域では一気に利用率が減ったようなイメージになると思います。資料作成においては、人口減少率を合わせて掲載すると良いと思います。

○事務局

運行状況などについて議論する際は、人口データなど複数の要素を含めてお示しできるようにしたいと思います。

○会長

あいのりタクシーは今後の浜田市の交通体系の中でもコアな部分になってくると思います。

先ほどの意見の中で、タクシー事業者との契約は利用者個人が選べるのか、まちづくり推進委員会の方で一律に決めるのか、どちらになりますか。

○事務局

基本は、まちづくり推進委員会とタクシー事業者で決めることになると考えています。

○会長

あいのりタクシーの用途についても、同様にまちづくり推進委員会の判断になりますか。

○事務局

地域の懇親会などもあるため、私的な利用が制限されるものではないと考えております。実際に相談もありましたが、補助対象はまちづくり推進委員会であり、まちづくりの活動としてふさわしいものかが判断基準になると思います。個人的な利用については、まちづくり推進委員会の中で考えてもらって、事業に取り組んでいただきたいと思います。

○委員

金城地域や旭地域については、利用する団体と利用しない団体の差が激しいと思います。

以前、前副市長に予算を使い切ってしまう、事業ができなくなった地域に他のまちづくり推進委員会から予算を回してもらうことができないかと相談したことがありますが、どうにかなりませんか。

○事務局

補助金の考え方については、地域によって移動距離の差がある中で、一律の補助金で行うことに課題があると思っています。また利用実態については分析を行っていききたいと思います。金城地域の例が出ましたが、利用回数を制限するなど苦しい対応をされていると伺っています。どのように改正できるかについては、分析などを通じて考えていききたいと思います。

○会長

あいのりタクシーについては、補助制度が立ち上がって熟れてきたところであり、遠い地域や人口の多いところなどにおいては、制度の変更も考えてよいとも思っています。あいのりタクシーは浜田市の特徴的な取り組みであるため、より良い方向に話し合っ変えていければと思います。

次に3の(2)の令和8年度の事業計画予算について、事務局よりお願いします。

(2) 令和8年度事業計画及び予算について

<質疑応答>

○会長

事業計画「3 地域公共交通サービスの調査・検討」で、この調査業務と本協議会の関係として、調査の中身等について本協議会で議論することはありますか。

○事務局

本協議会は地域公共交通計画を策定する際に議論させていただいております。この事業を進める中で、地域公共交通計画を改定することとなれば、皆さんにお諮りをしなければならないと考えています。

○会長

調査報告書が完成するのは、いつ頃になりますか。

○事務局

2月末までに終了しなければならないため、2月上旬には完成しているのではないかと想定しております。

○委員

あいのりタクシーについて検討する分科会など、そのような会議は開催できますか。

○事務局

過去に利用者部会ということで、地域協議会や女性ネットワークの方々と小さい委員会を開催したことがあります。ご要望があれば、検討させていただきますが、具体的なことについては、また相談させていただきたいと思います。

○会長

事業実績も伸びており、そのようなものを設けても良いと思います。

市も限られた予算の中で、交通体系を組まなければならないため、あいのりタクシーを増やすとなると、交通体系の見直しが必要となります。それらを踏まえて、事務局の方でまた考えさせてもらいます。

それでは他に質問等が無いようでしたら、ただいまの議題（2）令和7年度の事業計画及び予算について、承認をいただける方については、拍手をお願いいたします。

【 拍手多数 承認 】

（3）その他質問

○委員

交通について、広域で考えていることはありますか。

○事務局

現時点で広域な連携としては、邑南町と矢上高校への通学で連携しております。また江津市とは有福温泉で一部連携はしておりますが、具体的な方針として、連携していることはありません。広域についてはどのようなイメージを描いておられますか。

○委員

調査等をされて、様々な事業に取り組まれると思います。広域で似たような課題を持っていると思うので、それを協働で解決できないかなと思っています。

○事務局

邑南町や江津市は1つの路線で結ばれているので、可能性としてはあると思います。国の事業やこのような場で多くのニーズがある場合には、呼びかけをしていかないといけないと考えています。

○会長

広域連携の視点はこれからも必須となってくると思うため、議論の中で意識して進めていきたいと思います。他にないので、事務局にお返しします。

○事務局

以上をもちまして令和８年度第２回浜田市地域公共交通活性化協議会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。